



田口山小だより



令和6年12月 24 日
冬休み・1月合併号 No.10

【めざす子ども像】

- ・自ら学び行動することも
- ・自他敬愛の心を持ち、協力する子ども
- ・最後まで粘り強くがんばる子ども

枚方市立田口山小学校
校長 齋藤 博

2学期(2024年)を終えて ご支援・ご協力ありがとうございました!

本日、2学期終業式を無事迎えることができました。保護者の皆様には、今学期も多大なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。2学期を振り返ってみますと、田口っ子らしく心輝かせる姿、学ぶ意欲に溢れる姿をたくさん目にし、日々の授業や行事を通じて、子どもたちの成長を大きく実感する2学期でした。

明日からの冬季休業期間、引き続き、うがい・手洗い・換気等を励行の上、年末年始を健康第一で過ごせますよう、子どもたちにお声かけをよろしくお願い申し上げます。

令和7年は、巳年です。巳年は一般的にこれまで「努力してきたことが実を結び始める」年といわれ、また、蛇は脱皮をすることから、「新たな挑戦」や「変化に前向き」になるといわれています。新学期に、新年を迎え決意を新たに登校してくる子どもたちに会える日を楽しみにしています。

令和7年(2025年)もどうぞよろしくお願いいたします。良いお年をお迎えください。

田口山小児童フェスティバルの様子(11月15日開催)



1月の行事予定等について

1 月	7	火	3学期始業式、3時限授業(11:30頃下校)
	8	水	給食開始、4時限授業(13:15頃下校)
	9	木	4時限授業(13:15頃下校) おはなしキューピット(1・2・3年)
	10	金	4時限授業(13:15頃下校)、2測定(6年) ♥心の教室相談日
	13	祝月	成人の日、枚方市成人祭「はたちのつどい」
	14	火	1年校外学習(海遊館)、2測定(5年)
	15	水	図書館見学(2年)、2測定(3年)
	16	木	おはなしキューピット(1・4年)、2測定(2年)
	17	金	避難訓練(地震・火災)、6年中学校体験(14:30~15:30頃) 2測定(1年) ♥心の教室相談日
	18	土	PTA運営委員会
	20	月	委員会、避難訓練予備日(地震・火災)、2測定(4年)
	22	水	教職員研修日、4時限授業(13:00頃下校)
	23	木	おはなしキューピット(1・2・3年)
	24	金	絵本作家 森くま堂氏による出前授業(4・5年) ♥心の教室相談日
	27	月	クラブ、縄跳び週間・給食週間(1/27~1/31)
	29	水	4時限授業(13:10頃下校)
	30	木	おはなしキューピット(1・4年)
31	金	♥心の教室相談日	

※2月以降の主な行事予定

- 2月5日(水) 入学説明会(新1年生の保護者対象)
- 2月12日(水)~14日(金) 授業参観・懇談会予定日(学年・日程調整中)
※後日、改めて、お手紙でお知らせいたします。
- 2月18日(火) 田口山幼稚園児との交流会(1年)
- 2月19日(水) 4時限授業(13:10頃下校)
- 2月20日(木) 西長尾小との交流授業(6年)
- 2月21日(金) 4年2組以外は給食後下校、4年2組は5時限終了後下校
- 2月27日(木) 春日丘幼稚園児との交流会(1年)
- 3月18日(火) 第50回卒業証書授与式
- 3月24日(月) 修了式

子どもが主役の学校へ

裏面は、本市教育委員会が作成したポスターです。
本校としまして、「子どもが主役の学校へ」を大切に、
子どもが主役の学習活動による「個別最適な学び」と「協働
的な学び」の実現。教師主体の一斉授業からの脱却、「教
え」から「学び」への転換に努めて参ります。

「学校ブログ」

~田口山小学校の「いま」を発信しています~



学校はそもそも 何のためにあるの？

生成AI 「教え」から「学び」への転換
DE&I 発達支持的生徒指導

1人1台端末の
文房具的活用

子ども主語？
教師主語？

そろえる教育から
一人一人の良さを徹底的に伸ばす教育へ

エージェンシー

子どもに
学びを委ねる

インクルーシブ

とは？ 学び

コンピテンシー

探究学習

試行錯誤
自己調整

これから求められる教師像

自立した学び手

子どもの学びと教師の学びは相似形

教室の心理的安全性

宿題の個別最適化

PBL 課題解決型学習

子どもは教師が 教えないと学べない？

同調圧力

メタ認知

ウェルビーイング

人と違うことに価値がある

授業観・研修観の
転換

児童・生徒主体の
学校行事

選択肢と
自己決定

主体的な学びを支援する伴走者

共感的な人間関係

ルールメイキング

一度、立ち止まって考えてみませんか。対話してみませんか。

子どもが主役の学校へ

前提となる子ども観

- 子どもは一人一人違っている
- 子どもはそもそも有能な学び手
- 子どもは適切な環境と出会えば、自ら進んで学ぶ

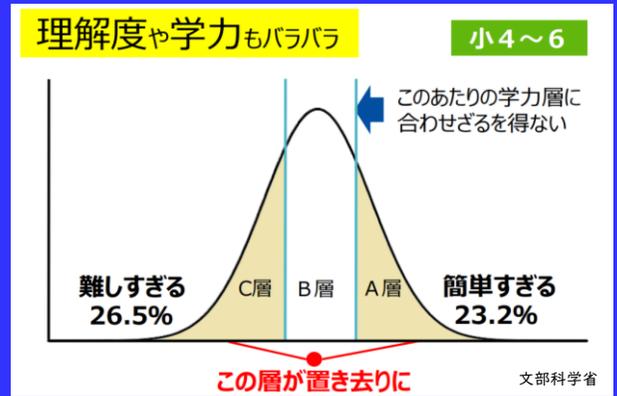
求められる教師像

- 見守る・待つ・支える姿勢(伴走者)
- 子どもの学びをつなぐファシリテーター
- 学習環境整備と足場架け
- 公正で個別最適な支援(合理的配慮)
- 教科の本質と子ども理解に裏打ちされた見取り／価値付け

誰一人置き去りにしない

「みんな一緒に」
「みんな同じことを」
「同じ方法で」
「同じスピードで」
の授業から

1人1台端末の良さを生かしながら、自分にあった学び(誰と学ぶ、何を学ぶ、どのように学ぶ、どこで学ぶ)を選択できる授業に変えていく必要があります。



子どもが主役の学習活動による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現
～教師主体の一斉授業からの脱却、「教え」から「学び」への転換～

【PBL】



現実の社会課題を解決したい！
答えのない探究学習はワクワクできる。

【自己選択】

学ぶ方法、学ぶ場所、誰と学ぶのか、自分で決めることができるから、楽しい！



【子ども主語】



全員が楽しめる運動会の競技を何度も話し合って自分たちで考えたよ！

【協働学習】

自分と違う考え方を聞くと新たな気づきがある。対話は面白い。



【当事者意識】



学校の決まりや制服を自分たちで作った。自分の学校は自分で創る！